

令和元年9月30日(月)
国土交通省 関東地方整備局
建 政 部

第13回「建政部セミナー」を開催します！

豊かな住生活を持続させるために行政ができること
～「ぐんま 住まい・暮らしのあり方ガイドライン」をめぐる～

主催；関東地方整備局、共催；群馬県

関東地方整備局建政部では、自らの担当分野にとらわれず、今後のまちづくり、住まいづくりについて考える機会を設け、これからの業務に活かしていくため、多様で幅広いテーマで「建政部セミナー」^(※)を実施しています。

第13回「建政部セミナー」は、群馬県共催のもと、『豊かな住生活を持続させるために行政ができること～「ぐんま 住まい・暮らしのあり方ガイドライン」をめぐる～』をテーマとして、東京大学の月敏雄教授と群馬県の白鳥雅和氏のお二人からご講演いただくとともに、住まいづくり・まちづくりに経験の深い方々を交えたトークセッションを行います。

地方公共団体の方々のみならず、住まいづくり・まちづくりに携わっている方々も対象としていますので、積極的なご参加をお待ちしています。

(※) これまで、公民連携まちづくり、リノベーションまちづくり、古民家活用等のテーマを中心に開催し、管内自治体職員を中心に累計約2,300名の方々にご参加いただいています(開催経緯は、別紙4をご参照ください)。

1. 日時・場所

日時：令和元年10月31日(木) 14:00～17:00

場所：さいたま新都心合同庁舎2号館 5階共用会議室501

2. 内容

講演①『住生活と住宅政策』

月敏雄氏(東京大学大学院工学系研究科建築学専攻 教授)

講演②『ぐんま 住まい・暮らしのあり方ガイドライン』

白鳥雅和氏(群馬県 県土整備部 建築課 次長)

※各講師の略歴については、別紙1をご参照ください。

トークセッション ～行政の様々な立場・視点から～

月敏雄氏(東京大学大学院工学系研究科建築学専攻 教授)

白鳥雅和氏(群馬県 県土整備部 建築課 次長)

小林弘幸氏(長野県建設部建築住宅課 課長)

吉澤輝男氏(前橋市都市計画部建築住宅課 課長)

丸山宏司氏(前 関東地方整備局建政部 住宅調整官(現 復興庁企画調査官))

詳細については、http://www.ktr.mlit.go.jp/city_park/news/city_park_news00000015.pdfを参照してください。

3. 参加申込み・取材登録について

参加希望の方は、別紙2により、10月17日(木)までにメールでお申し込みください。

取材希望の方は、別紙3により、10月30日(水)12時までに登録ください。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、埼玉県政記者クラブ

問い合わせ先

関東地方整備局 建政部 住宅整備課 課長 横田 圭洋 課長補佐 大塚 幹也

TEL : 048(600)1907 (内線 6181, 6182) FAX : 048(600)1908

講師略歴

○ 大月 敏雄 氏

東京大学 大学院工学系研究科 建築学専攻 教授

東京大学大学院工学系研究科建築学専攻教授。1967年福岡県生まれ。東京大学工学部建築学科卒業後、同修士課程終了後、同博士課程単位取得退学。博士（工学）。横浜国立大学助手、東京理科大学助教授を経て現職。古い集合住宅の住みこなしや、アジアのスラムのまちづくり、戸建て住宅地のマネジメントなどを中心に、住宅地の生成過程と運営過程について研究する一方、住宅・集合住宅・住宅団地の計画や設計も手がける。著書に「集合住宅の時間」（王国社）、「住まいと町とコミュニティ」（王国社）、「町を住みこなす」（岩波書店）、「住宅地のマネジメント」（建築資料研究社）などがある。

○ 白鳥 雅和 氏

群馬県 県土整備部 建築課 次長

昭和39年江戸川区生まれ。大学卒業後、民間企業に就職して東京で6年暮らす。妻の実家や田畑の将来を考え、平成4年に群馬県に入庁。建築確認・開発許可行政や住宅行政のほか、都市計画、自然環境行政など様々な分野を経験。上信越高原国立公園鹿沢園地内の自然学習歩道とインフォメーションセンター整備事業において設計者、環境省とともに2007年日本建築学会賞（業績）及び土木学会デザイン賞2009を受賞。平成28年から3年間在籍した住宅政策課では、「ぐんま 住まい・暮らしのあり方ガイドライン」の策定において中心的な役割を担う。令和元年度より現職。高度経済成長期の環境の変遷を目の当たりにした原体験から、豊かな環境を次世代に受け継ぐことをテーマに据えている。